

薪ストーブ

ストップ

コンパクト

Stûv 30-Compact

取扱説明書

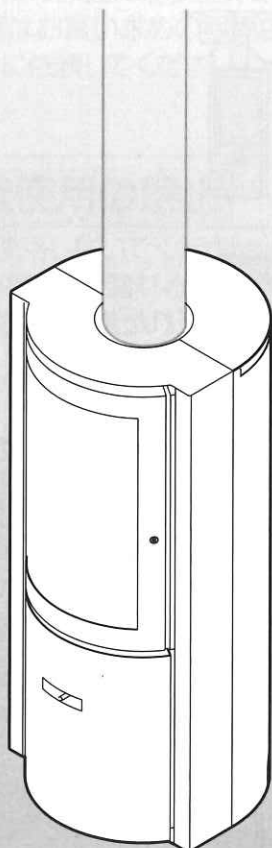
(保証書付き)
裏表紙に付いています。

このたびは本機をお買い求めいただきまして
まことにありがとうございます。

■ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」
及び別冊の「工事説明書」をよく読んで、
正しく使用してください。

この「取扱説明書」は、別冊の「工事説明書」
とともに大切に保管してください。

■「取扱説明書」、「工事説明書」を紛失された
場合は、お買い求めの販売店にご相談して
ください。





目次




① 安全のために必ずお守りください	1~4
② 使用する場所	4
③ 仕様	5~6
・仕様表	5
・別表	5
・ストーブの寸法	6
④ 各部のなまえ	7
⑤ 機能と特長	8
・3つの運転モードについて	8
・燃焼方式 (Stûv 30-Compactのしくみ)	8~9
⑥ 使用前の準備	10~15
・薪の種類	10
・薪の乾燥	11
・基本的な操作方法の確認	12~14
・点火前の確認と準備	15
⑦ 使いかた	16~22
・点火のしかた	16
・火を維持する	17
・暖炉モードでの使用について	17
・消火のしかた	18
・炎の調節	18
・グリル(別売)の設置方法	19~20
・排気の調節機能	21~22
⑧ 点検・手入れ	23~28
⑨ 故障・異常の見分けかたと処置のしかた	29~31
・修理を依頼される前に調べて いただきたいこと	22~30
・煙道火災が発生した場合	31
⑩ 部品交換のしかた	31
⑪ アフターサービス	32
保証書	裏表紙

1 安全のために必ずお守りください

- お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しく使用するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
- ここに示した表示は、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

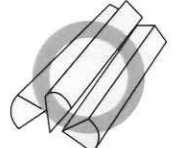

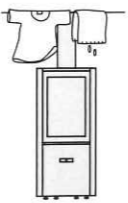
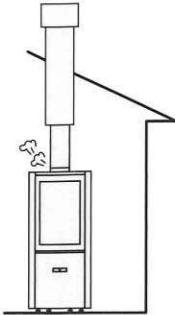
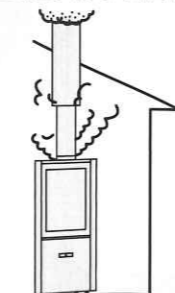
 警告(WARNING)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意(CAUTION)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容を、次の絵表示で区分しています。

	この絵表示は、「禁止」されている内容です。
	この絵表示は、「注意」していただく内容です。
	この絵表示は、必ずしていただく「指示」内容です。

●説明文中の「お願い」「お知らせ」事項は、本機を誤りなく正しくお使いいただくための内容が記載されています。

警告(WARNING)

<p>★使用燃料は木質燃料以外厳禁</p> <p>燃焼室には木質燃料(薪)以外の固形燃料やガソリンなどの液体燃料を入れないでください。火災の原因になります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">薪 ガソリン</p>	<p>★衣類の乾燥厳禁</p> <p>衣類などの乾燥には使用しないでください。衣類が乾燥すると、ストーブの熱気でゆれて落下して火がつき、火災の原因になります。</p> 
<p>★煙突外れ危険</p> <p>煙突が外れたまま使用しないでください。外れていると燃焼中に煙が室内に漏れて危険です。</p> 	<p>★煙突閉そく危険</p> <p>●煙突がつまったり、ふさがれたまま使用しないでください。煙突が閉そくしていると運転中に煙が室内に漏れて危険です。</p> <p>●給気経路がほこりや灰で詰まったまま使用しないでください。給気経路が閉そくされていると、煙突内にタールが付き、煙道火災の危険があります。</p> 

警告(WARNING)

<p>★スプレー缶厳禁</p> <p>スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを、ストーブの上や周囲に放置しないでください。熱で缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。</p> 	<p>★可燃物近接厳禁</p> <p>●カーテン・布団や毛布など燃えやすいもののそばなどでは使用しないでください。火災のおそれがあります。</p> <p>●ストーブからは多量の熱が放出されるため、ガラス窓周辺の範囲a・ストーブ側面の範囲bと煙突の周囲45cm以内に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。</p> 
<p>★ご自身での据付け・移設工事の厳禁</p> <p>お客さまご自身による工事は危険です。据付け工事は販売店や専門業者にご依頼ください。(ストーブを移設させる場合も同じです。)</p>	<p>★換気扇使用禁止</p> <p>換気扇やレンジフードは使用しないでください。室内へ煙が漏れて、室内汚染のおそれがあります。</p>
<p>★定期点検の実施</p> <p>定期的(1シーズンに1回程度)に本体および煙突の点検・整備を受けてください。点検を受けずに長期間使用し続けると、故障や事故の原因になり危険です。点検・整備はお買い求めの販売店や専門業者に依頼してください。</p>	<p>★床を保護する</p> <p>ストーブを据付ける床面は不燃材または炉台(フロアプレート)で保護してください。燃えた燃料の落下やふく射熱で火災になるおそれがあります。</p>
<p>★改造使用の禁止</p> <p>改造して使用しないでください。火災や室内に煙が漏れる原因となり危険です。</p>	<p>★高温部接触禁止</p> <p>燃焼中や消火直後は、高温部(上面板、燃焼室扉、ガラス窓、側板、煙突)に手をふれないでください。やけどのおそれがあります。</p>
<p>★地震などの災害が発生したときは必ず点検する</p> <p>地震などの災害にあった場合は、使用する前に必ず販売店または、弊社のお客様相談窓口にご依頼ください。</p>	<p>★燃焼室扉開放禁止</p> <p>取扱説明書に指示のある場合を除いて燃焼室扉を開けたまま、使用しないでください。扉が閉まらないような大きな薪は燃やさないでください。火がついた薪が転がり落ちるなどして火災の原因になります。</p>

1 安全のために必ずお守りください

⚠ 注意 (CAUTION)

★自然薪以外は燃やさない

乾燥した自然の薪以外は燃やさないでください。
防腐剤・接着剤や塗料などが含まれる薪は、化学成分（特に塩素）が発生し、サビや故障の原因になります。



禁止

★燃料を入れすぎない

薪を入れすぎないでください。
火力が大きくなりすぎ、熱の影響でストーブや煙突が破損する原因となります。



禁止

★異常・故障時使用禁止

炎が調節できない、強いにおい、部品の変形または破損など、異常を感じたらご使用を中止して、販売店または弊社のお客様相談窓口へご相談ください。



使用禁止

★灰処理の際は、ストーブが冷めてからおこなう

灰の除去は火種がなくなり、ストーブが完全に冷めてからおこなってください。
やけどやけがの原因になります。



指示

★寝るとき消火

※外出するとき消火
※人のいないところでは使用しない
寝るときや外出するときは、必ず火が消えていることを確認してください。
また、人目の届かないところでは、使用しないでください。
火災など予想しない事故が発生するおそれがあります。



消火

★灰は完全に冷めた状態で処分する

燃焼室内や灰受け皿の灰は金属容器に入れ冷まして、完全に冷めた状態で処分してください。
火災など予想しない事故が発生するおそれがあります。



指示

★分解修理の禁止

●故障、破損したら使用しないでください。
●部品が欠品した状態では使用しないでください。
●不完全な修理は危険です。
●日常の点検・手入れに関する部分は分解修理に該当しません。
メンテナンスをおこなう場合は点検・手入れ(23～28ページ)を参照して作業をおこなってください。



分解禁止

★消火器を常備する

緊急時に備えて、消火器を必ず常備してください。



指示

★水をかけない

※水をかけて消火しない
●緊急時を除き、燃焼室内の薪に水をかけて消火しないでください。
急激な温度変化でストーブが変形したり高温の水蒸気などでやけどするおそれがあります。
●ストーブに水をかけないでください。
水分を付着したままにするとさびの原因になります。



禁止

★暖炉モードでの使用時はストーブから離れない

●暖炉モードで使用するときはストーブから離れないでください。
燃焼室からの飛び火などにより火災になるおそれがあります。



禁止

★別売グリルで調理中はストーブから離れない

●調理をしたままストーブを離れないでください。
食材がこげたり、燃えたりして火災の原因になります。



禁止

★腰をかけたたり物をのせない

ストーブの上ののったり、腰をかけたりのせないでください。
ストーブの故障ややけどのおそれがあります。
ストーブの上に花瓶や水を入れた物を置かないでください。
水がかかると故障のおそれがあります。



禁止

⚠ 注意 (CAUTION)

★お子様やお年寄りのご使用に注意

お子様やお年寄り、体の不自由な方がお使いになる場合は、やけどや、部屋の換気などについて、周囲の人が十分に注意してください。



注意

★残灰を蓄積しすぎない

燃焼室内に残灰が蓄積した状態で燃焼を続けると異常燃焼を引き起こし、ススによる壁汚染等の原因となります。
燃焼室内の残灰は掃除してください。



禁止

★お子様やお年寄りに作業させない

お子様やお年寄りに点火や火の番などの作業はさせないでください。
やけど・けが・火災の原因になります。



指示

★ふく射熱に長時間あたらさない

ストーブの間近でふく射熱に長時間あたり続けると、低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。
とくに、幼児やお年寄り、体の不自由な方や病気のかたなどの暖房には十分に注意してください。



指示

★扉を開け閉めするときの注意

燃焼室扉の開閉をおこなう際は、燃焼室扉ハンドルを持っておこなってください。
燃焼室扉ハンドル以外を持つと指を挟みけがをするおそれがあります。



注意

お願い (NOTICE)

万が一のために

★火災報知器の設置

ストーブを設置する部屋には、火災報知器を設置することをおすすめします。

★一酸化炭素警報器の設置

排気漏れによる事故を防ぐために、一酸化炭素警報器の設置をおすすめします。

2 使用する場所

効果的に使用するために

●冷たい外気に接する窓際や壁際に設置すると、対流効果によってお部屋の温度のムラが少なくなり、効果的に暖房ができます。

3 仕様

仕様表

名称	Stûv 30-Compact	
給排気方式	自然通気形	
ストーブの重量(燃料空量時)	114kg	
外形寸法	高さ 1040mm 幅 465mm 奥行 447mm	
材質	スチール	
暖房出力	3~9kw	
薪の推奨使用量(含水率 12%の場合) ※	0.8~2.5kg/h	
燃焼効率	80%(EN13240)	
排気温度	別表	
CO %	0.09%(EN13240)	
煤塵濃度測定値	18mg/m ³ (EN13240)	
ドラフト	別表	
燃焼システム	クリーンバーン	
燃料の種類	乾燥薪	
薪の長さ	水平方向最大	25cm
	垂直方向最大	40cm
煙突径	φ 150mm	
室内給気口の最小面積	100 cm ²	

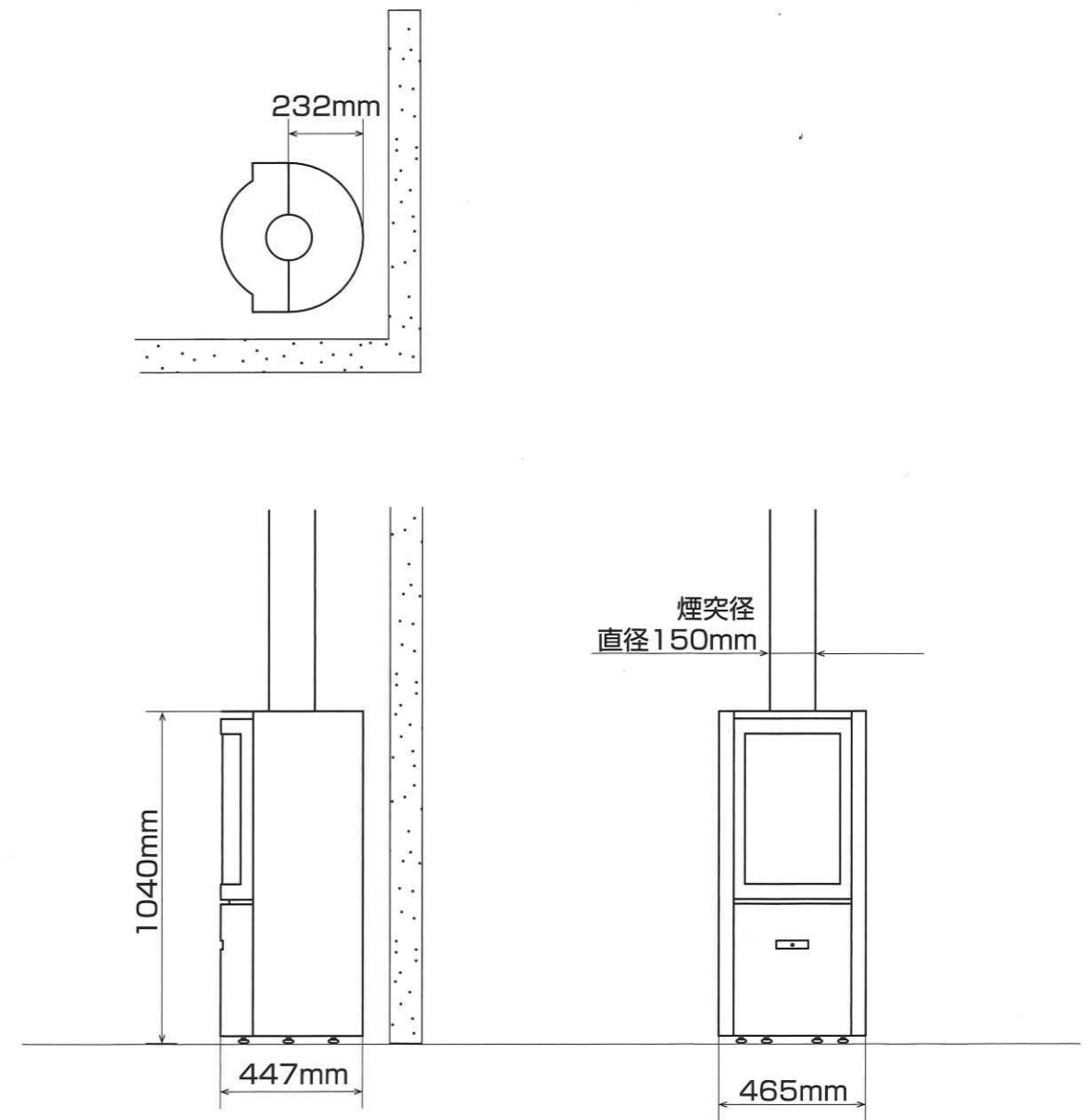
※ 焚きすぎを防止するためには、1時間あたりの薪の使用量を 2.5kg までとしてください。

別表

3つのモードにおける最小ドラフト

	ガラス扉モード	鉄扉モード	暖炉モード
最小ドラフト	12Pa	12Pa	7Pa
排気ガス量	4.9g/s	4.6g/s	33.6g/s
排気温度	325℃	340℃	180℃

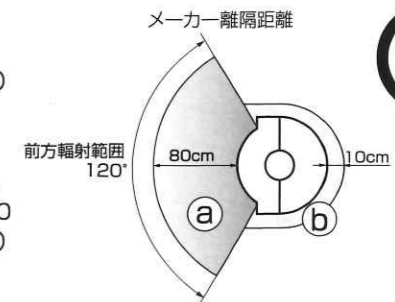
ストーブの寸法



警告

★可燃物近接厳禁

- カーテン・布団や毛布など燃えやすいもののそばなどでは使用しないでください。火災のおそれがあります。
- ストーブからは多量の熱が放出されるため、ガラス窓周辺の範囲a・ストーブ側面の範囲bと煙突の周囲45cm以内に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。

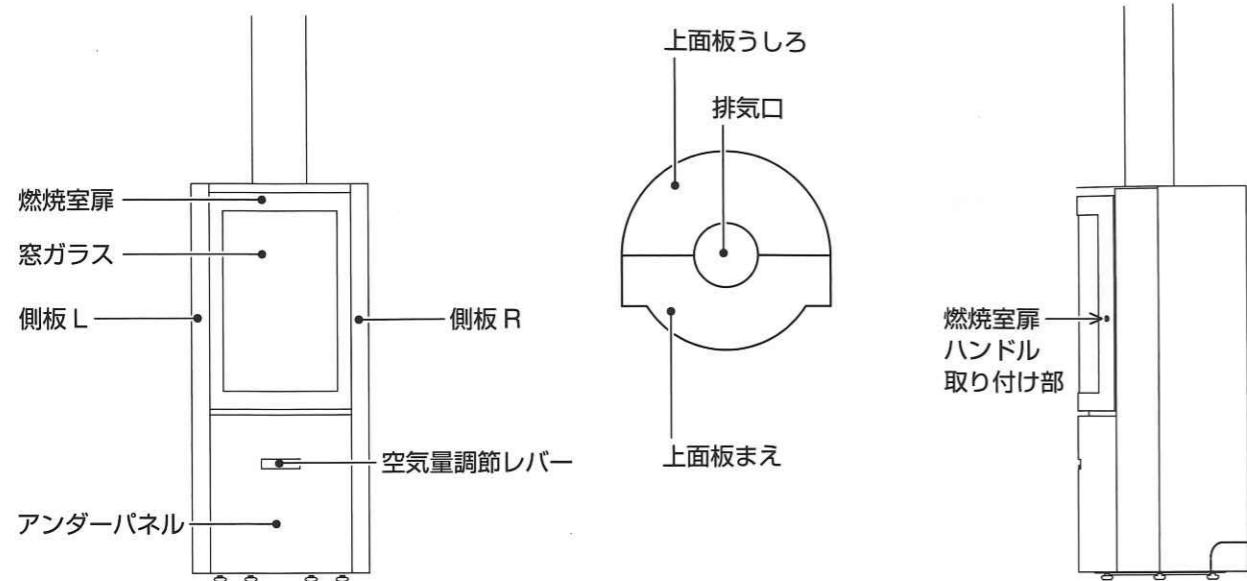


4 各部のなまえ

正面

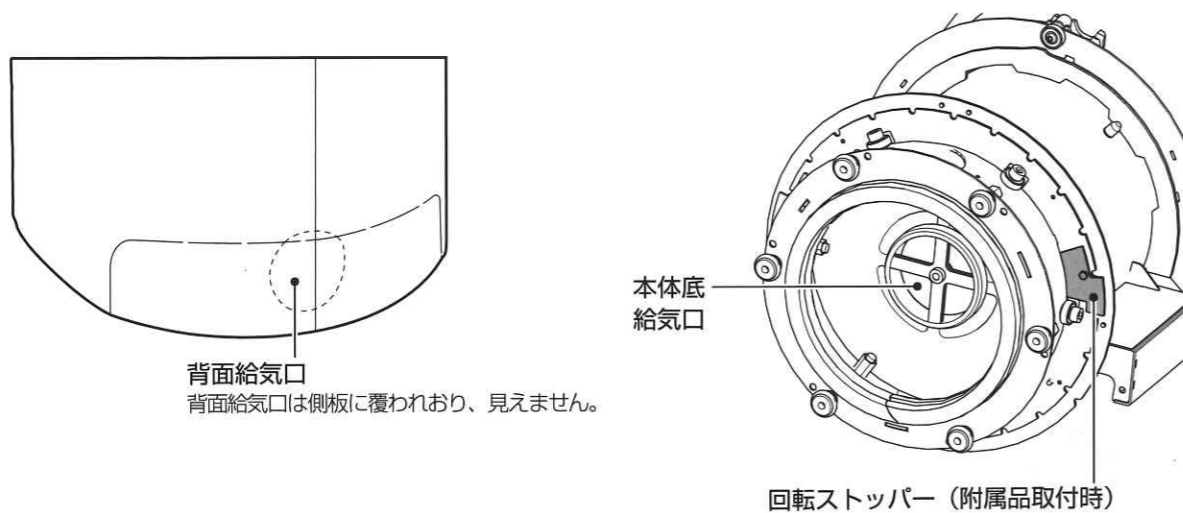
上面

側面

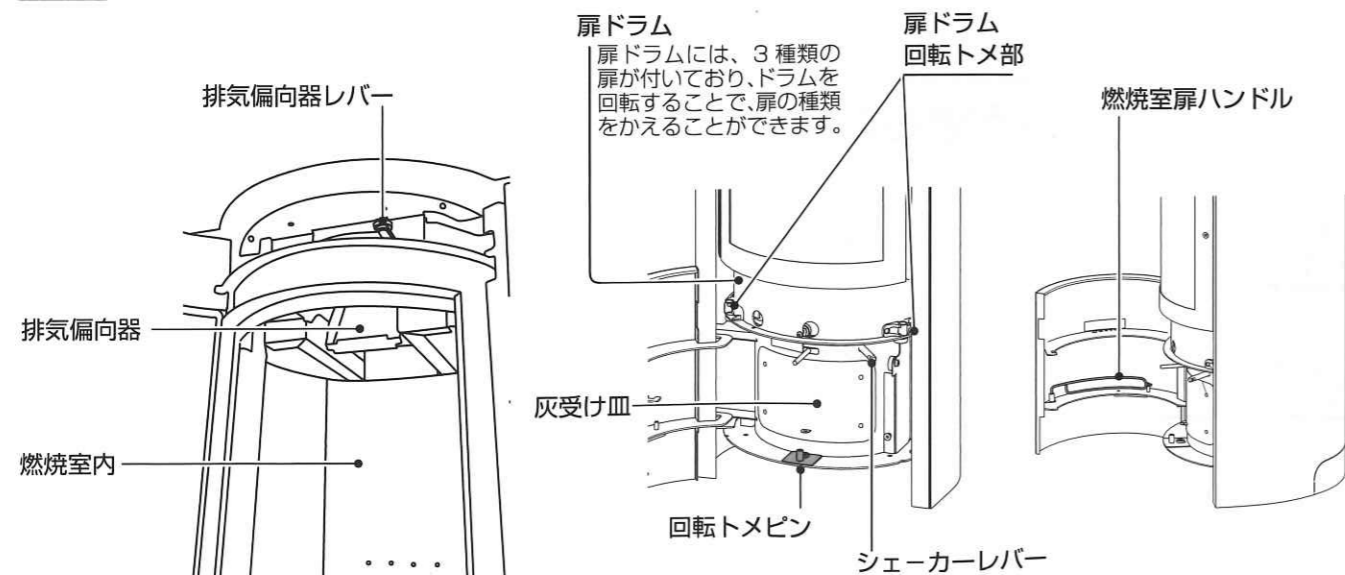


背面

底面



内部



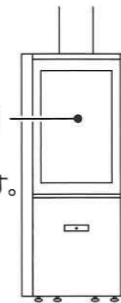
5 機能と特長

3つの運転モードについて

■ガラス扉モード

炎がよく見えるモードです。

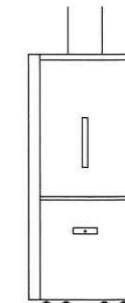
ガラスあり
ふく射熱もあり暖かさを十分に感じることができます。



■鉄扉モード

炎がほとんど見えないモードです。

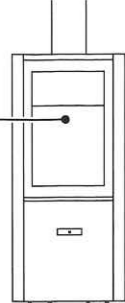
ふく射熱を弱めることができます。



■暖炉モード

直に炎の温もりを感じるモードです。

ガラスなし
扉を開放している為、燃焼室の温度が下がり燃焼効率は下がります。暖炉モードでのご使用は短時間に留めてください。(別売グリル使用時など)



お願い

- 暖炉モードで使用するとき、必ず室内に付いている給気口を全開にするか窓を開けてください。
- 換気扇やレンジフードは使用しないでください。室内へ煙が漏れて、室内汚染のおそれがあります。

燃焼方式(Stûv 30-Compact のしくみ)

■暖房のしくみ

非常に高温になった燃焼室の熱 ③ は、以下の2箇所から放熱されお部屋を暖房します。

- ①燃焼室扉面からの放熱(ふく射熱)
- ②ストーブ底面から入った、室内の冷たい空気は燃焼室の背面 ② を通るときに熱せられてストーブ本体上部 ③ から室内へ出ていきます。(熱交換)

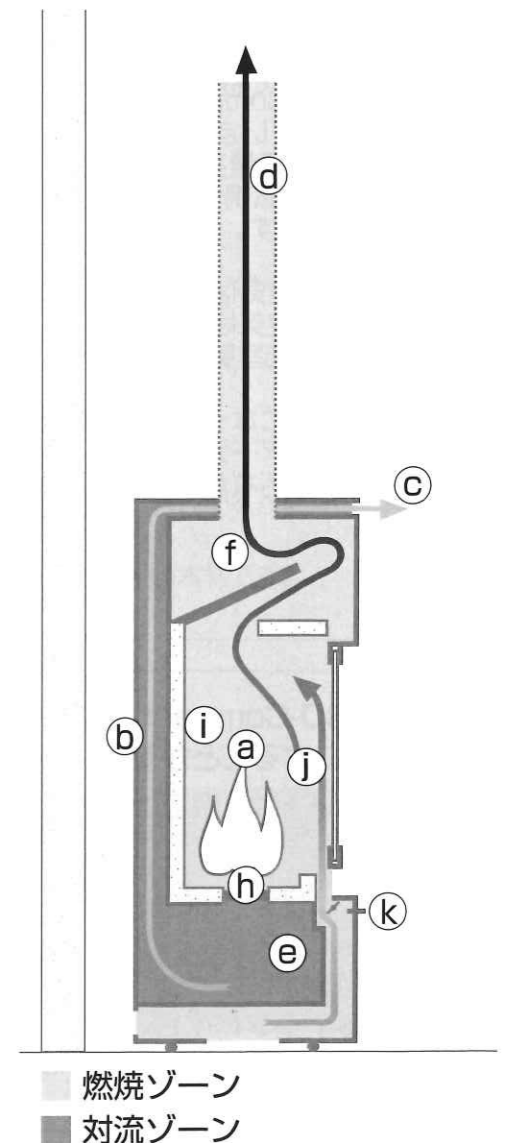
■燃焼効率

燃焼中、煙突 ④ 内のドラフト(上昇気流)により、ストーブ内にある高温のガスが煙突内に吸い込まれます。

ストーブ内の温度を上げて燃焼効率を上げるためには、適切な空気量で燃焼することと煙突から熱やガスが勢いよく出ないようにして熱の放出を少なくすることが必要です。煙突からの熱の放出を少なくするために、このストーブには2つのしくみが備えてあります。

- ①空気量調節レバー ① により、燃焼に必要な空気量を調節して、適切な空気量で燃焼することができます。
- ②排気偏向器 ② により、熱やガスが直接煙突へ流れるのを防ぎ、熱の放出を少なくすることができます。

この2つのしくみにより、ストーブ内の温度は上昇します。温度が高いと、燃焼効率が上がり、燃えかすの発生量も抑えられます。



5 機能と特長

燃焼方式(Stûv 30-Compactのしくみ)(つづき)

■暖炉モードでの使用について

ガラス窓がなく燃焼室を開放している暖炉モードで使用すると、薪がパチパチと燃える音や木の香、そして炎の温もりを直に感じることができます。

暖炉モードは扉の開口部より燃焼室内へ多くの空気が流れ込みます。

バックドラフト(逆火)を防ぐために、排気偏向器(f)が開かれガスと熱が直接煙突へ流れます。

そのため、ストーブ内の温度が下がり、燃焼効率が下がります。燃焼室を開放している「暖炉モード」は、燃焼室を開放していない「ガラス扉モード・鉄扉モード」と比べて放出する熱は弱くなり消費する薪の量も増えます。

Stûv 30-Compact は、燃焼室を開放していない「ガラス扉・鉄扉モード」において優れた燃焼効率を持ち、環境に優しい燃焼を実現できるように設計されています。通常時は燃焼室を開放していない「ガラス扉・鉄扉モード」でのご使用を推奨いたします。

「暖炉モード」のご使用は短時間のご利用にしてください。(別売グリル使用時など)

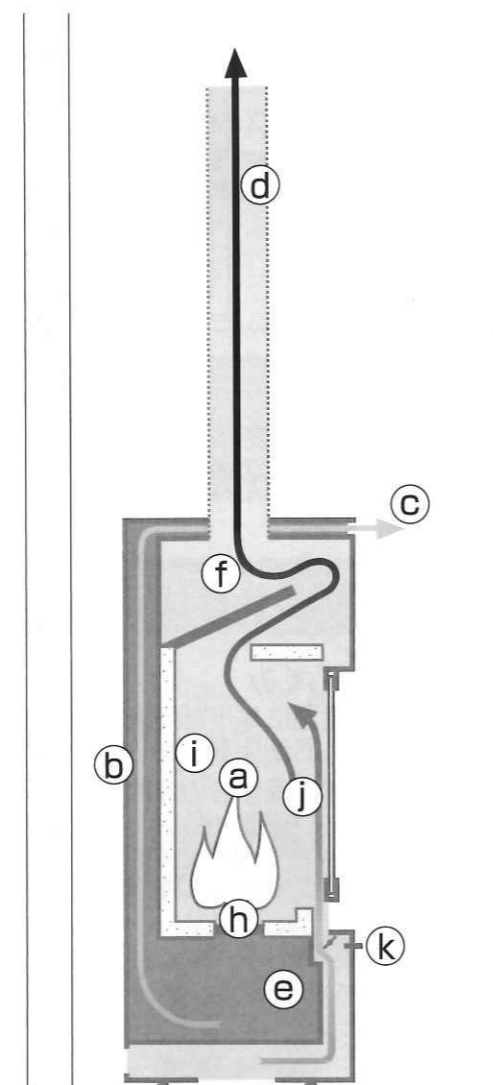
■燃焼時の空気の流れ

Stûv 30-Compact は、燃焼の際に必要な空気量を最小限にしています。

取り込む空気量を減らすと熱やガスの排気が少なり、ストーブの燃焼室内の温度が高くなり燃焼効率が良くなります。

- ・一次燃焼空気は、燃焼室底(h)より供給されます。
- ・二次燃焼空気は、燃焼室内にある背面ブロックの穴(i)からと燃焼室扉に沿って入り込む(j)より供給されます。

また、高温になった空気が燃焼室扉に沿って流れることで、エアーカーテンの役目を果たしてガラスにススなどの汚れが付くことを防ぎます。



■ 燃焼ゾーン
■ 対流ゾーン

Stûv 30-Compact を安全にご使用いただくために、煙突の中に付着するクレオソートを最小限にすることが重要です。

クレオソートは、冷えた煙突を煙が通るときに、煙突内側に蓄積するタールです。蓄積したクレオソートが一定の温度以上に加熱されると、煙道火災を引き起こすことがあります。

クレオソートを最小限にするためには

- ①よく乾燥した薪を燃やしてください。
- ②屋外は断熱二重煙突とし、煙を冷やさないようにしてください。
- ③適切なドラフト(上昇気流)が起きるように煙突を設置してください。
- ④薪を入れる量や燃焼用の空気量を調節して、不完全燃焼を起こさないようにしてください。

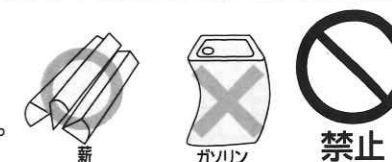
6 使用前の準備

薪の種類



★使用燃料は木質燃料以外厳禁

燃焼室には木質燃料(薪)以外の固形燃料やガソリンなどの液体燃料を入れないでください。火災の原因になります。



- 木材の種類によって、燃え方が変わります。
- 樺(ブナの木)、栲(トリネコの木)、榎(カシの木)、楓(シデの木)、桜の木や果樹などの硬い木材を選ぶことを推奨します。推奨の木材が生み出す炎は、美しく、長時間燃え続けます。

木材の種類	特長
樺(ブナの木) [推奨] 	<ul style="list-style-type: none"> ・乾燥しやすい木材です。 ・薪割りをしたらすぐに暗室に保管してください。 ・大きくて明るい炎を生み出します。
栲(トリネコの木) [推奨] 榎(カシの木) [推奨] 	<ul style="list-style-type: none"> ・乾燥方法が他の薪とは全く異なります。2年ほど雨ざらしにして、榎に含まれるタンニンを洗い流します。(洗い流すことで乾燥しやすくなります。)その後、更に2年ほど小屋の中に保管して乾燥させます。 ・養分が多い辺材の割合が多い枝部分は、短時間で燃えます。 ・榎の木そのものは、ゆっくりと燃える性質を持っており、穏やかに燃える炎を生み出します。 ・低出力での燃焼やグリルの使用に最適です。
楓(シデの木) [推奨] 桜の木 [推奨] 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常に硬い木材です。 ・色合いの美しい穏やかな炎を生み出します。 ・少し弱めの炎で燃焼させたいときやグリルの使用に最適です。
果樹 [推奨] 樺の木(シラカバの木) 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の広葉樹と比べて柔らかい木材です。 ・短時間で勢いよく燃えるため、明るく激しい炎が燃え上がります。 ・点火や再点火する際に、火が着きやすい木材です。
針葉樹 カラマツ、アカマツ、スギ、ヒノキなど	<ul style="list-style-type: none"> ・燃えやすい分、燃焼時間が短くなります。 ・火の粉の飛び散りが多くなります。

お願い

燃焼用の木材以外の家庭用ごみなどは、絶対に燃やさないでください。燃やしていけないものには、次のようなものがあります。

・石炭 ・合板 ・つや加工あるいは化成処理された木材 ・紙類 ・液体燃料 ・家庭から出るごみ
燃やしてはいけないものを燃やすと、非常に高温になり、ストーブや煙突の損傷につながります。また、ガラス窓が曇る原因や有毒な煙を屋外へ放出して環境汚染の原因になります。

6 使用前の準備

薪の乾燥



注意

★自然薪以外は燃やさない

乾燥した自然の薪以外は燃やさないでください。
防錆剤・接着剤や塗料などが含まれる薪は、化学成分
(特に塩素)が発生し、サビや故障の原因になります。



禁止

■薪の含水率

薪は必ず含水率が20%以下になるまで乾燥させたものを使用してください。
切り出してすぐの木材は、重量に対して最大75%もの水分が含まれています。(含水率75%)
切り出した木材は、必ず乾燥してから使用してください。

■木材の乾燥方法

- ①木材を割ってください。
空気と触れる表面積を大きくして乾燥しやすくします。
- ②割った木材が雨で濡れないように小屋などに保管して、乾燥してください。
小屋は定期的に換気をおこなってください。
乾燥期間の目安は約2年間です。

■含水率の測定

水分計を使用して薪の含水率を測定することができます。
薪に電極の針を差し込むと、含水率がわかります。(水分計は市販品をご利用ください。)

■必ず乾燥した薪を燃やす

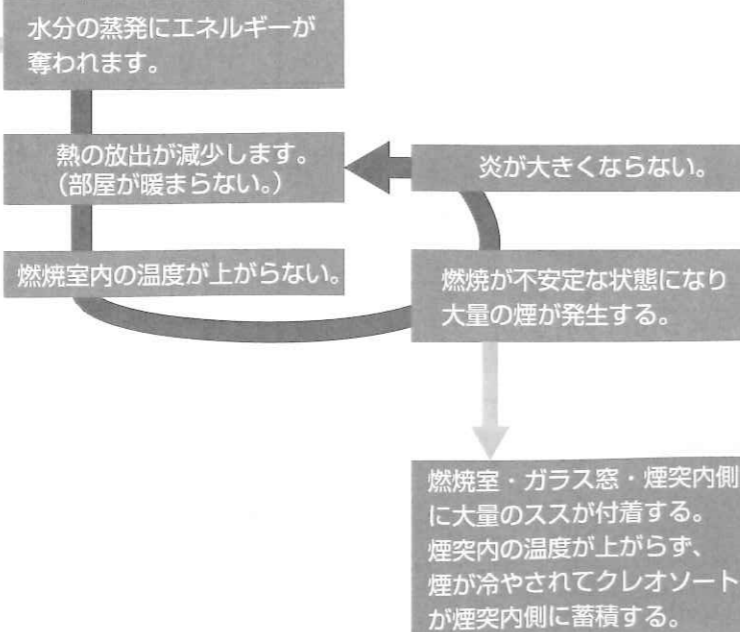
乾燥していない湿った薪を燃やすと、下表のような現象が起き、煙道火災につながるおそれがあります。

含水率が高い湿った薪を燃やすと

下記の表は木材1kg当たりの
発生熱量を、含水率ごとに測定
したものです。

含水率 (%)	発熱量 (BTU)
10	16393
15	15344
20	14296
25	13248
30	12199
35	11151

含水率30%の木材は10%の
木材と比べると25%熱量が
少なくなります。
含水率30%の木材が10%の
木材と同じ熱量を得るためには、
少なくなった熱量分(25%)の
木材が余分に必要です。



基本的な操作方法の確認



警告

★燃焼室扉開放禁止

取扱説明書に指示のある場合を除いて燃焼室扉を開けたまま、
使用しないでください。
扉が閉まらないような大きな薪は燃やさないでください。
火がついた薪が転がり落ちるなどして火災の原因になります。



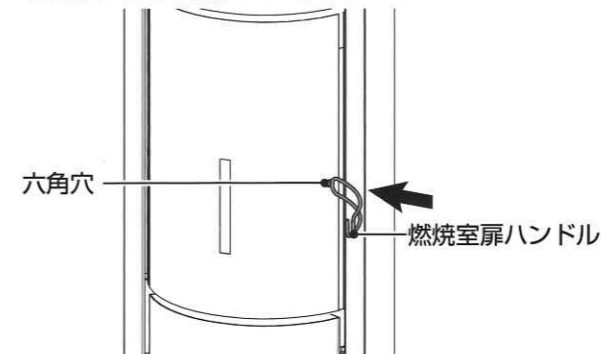
禁止

■燃焼室扉の開閉操作

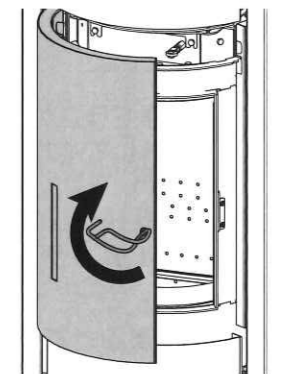
燃焼室扉の開閉は、燃焼室扉ハンドルが必要です。
アンダーパネルを開き燃焼室扉ハンドルを取り出してください。(13・14ページ)

・開け方

- 1 燃焼室扉の六角穴に燃焼室扉
ハンドルを差し込む。
六角になっている燃焼室扉ハンドルの
先端部を差し込んでください。

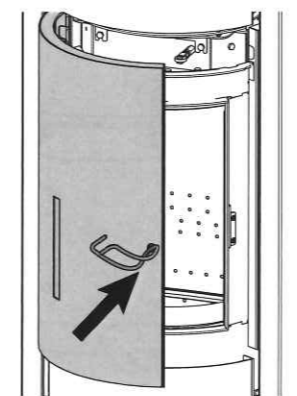


- 2 燃焼室扉ハンドルを右へ回す。
右へ回すとロックが外れて、燃焼室扉を
開くことができます。

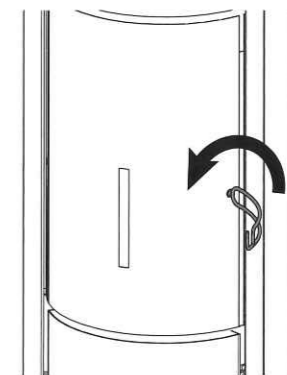


・閉め方

- 1 燃焼室扉の六角穴に燃焼室扉
ハンドルを差し込む。



- 2 燃焼室扉を閉め、燃焼室扉
ハンドルを左へ回してロックする。



お願い

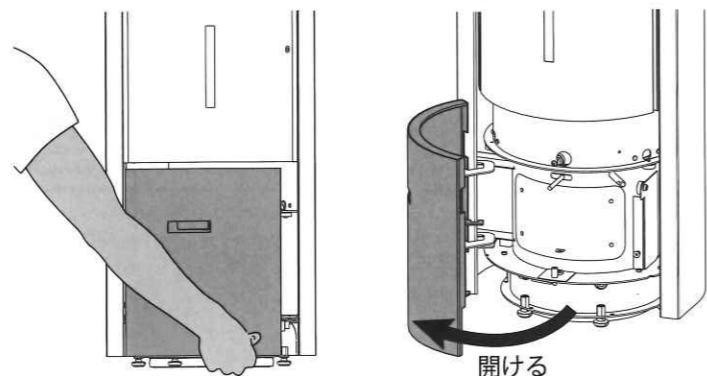
燃焼室扉を閉め、ロックをした後は燃焼室扉ハンドルを取り外してください。
燃えているときに燃焼室扉ハンドルを差したままにすると、ハンドルが熱くなり
やけどをするおそれがあります。

6 使用前の準備

基本的な操作方法の確認 (つづき)

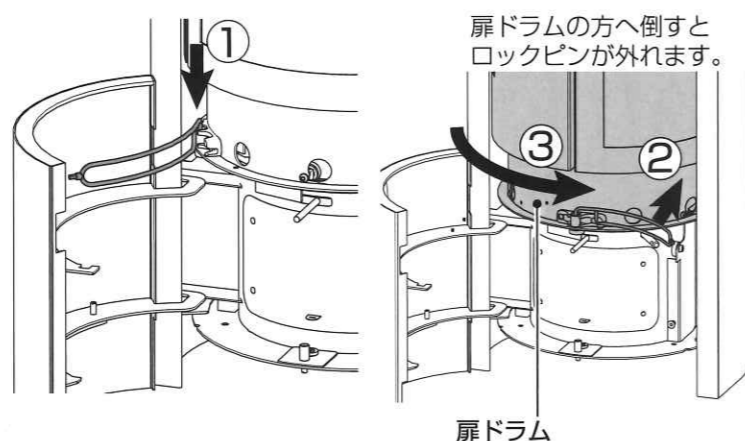
■アンダーパネルの開閉

アンダーパネルの右下を持って、開け閉めをしてください。



■燃焼室(扉ドラム)の回転操作 (ガラス扉モード、鉄扉モード、暖炉モードを切り替えます。)

- ① アンダーパネルを開けて、燃焼室扉ハンドルを図のようにロックピンの穴に差し込んでください。
- ② 燃焼室扉ハンドルを扉ドラムの方へ倒してロックピンを外してください。
- ③ 燃焼室扉ハンドルを扉ドラムの方へ倒したまま、燃焼室(扉ドラム)を回してください。
- ④ カチッと音がして止まる場所まで回してください。



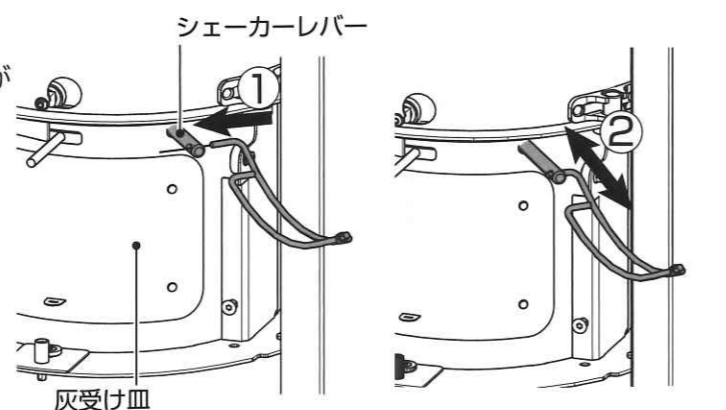
お願い

燃焼室扉を開けたまま燃焼室(扉ドラム)の回転をさせないでください。

■シェーカーレバー(灰落とし装置)の操作

シェーカーレバーを操作する前に、灰受け皿がセットされていることを確認してください。

- ① シェーカーレバーにある穴に燃焼室扉ハンドルを差し込んでください。
- ② 燃焼室扉ハンドルを持って前後に動かし、灰を灰受け皿に落としてください。

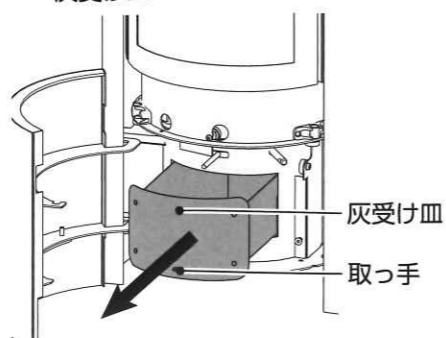


■灰受け皿の取り出し

灰受け皿の取っ手を持って、手前に引き出してください

お願い

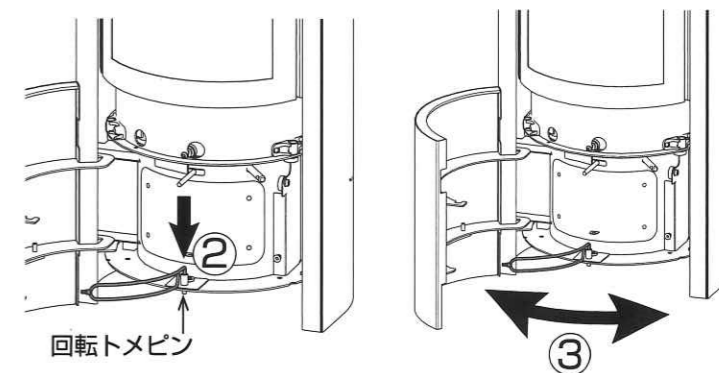
灰受け皿の取り出しは、消火後、ストーブの温度が下がってからおこなってください。



基本的な操作方法の確認 (つづき)

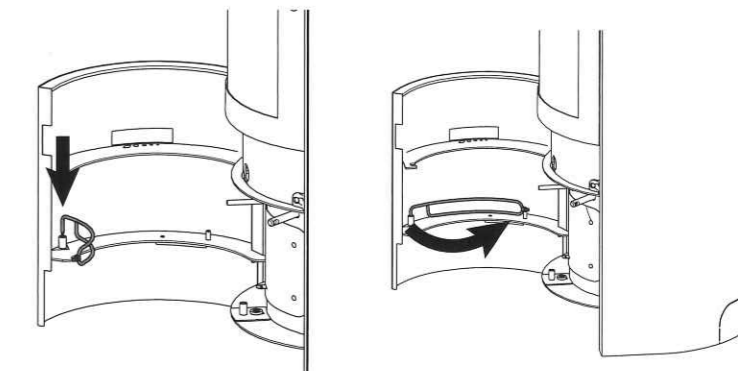
■ストーブ本体の回転操作

- ① アンダーパネルを開けてください。
- ② 回転トメピンの上にある穴に燃焼室扉ハンドルを差し込んでください。
- ③ 左右に動かし、お好みの位置に調節してください。
15度間隔で引っかかる場所があります。
引っかかる場所で止めて使用してください。



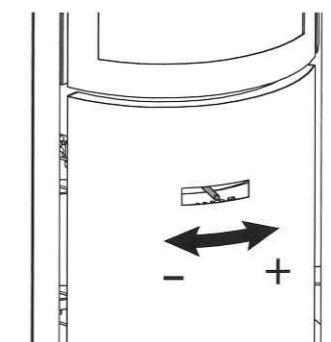
■燃焼室扉ハンドルの収納

アンダーパネルの裏側の図示部分に燃焼室扉ハンドルを差し込み、アンダーパネルの内側に収納してください。



■空気量調節レバーの操作

左へ動かすと空気量が少なくなり、右へ動かすと空気量が多くなります。



6 使用前の準備

点火前の準備と確認

■使用する前に

- ストーブに点火する前に、据付けで使用した工具などが燃焼室内やストーブ内部に残っていないか確かめてください。
- ストーブの外装の塗装は、使用するたびに熱で焼き付けられて傷が付きにくくなります。
- ご購入されて初めて使用されるときは製品の塗料や金属の加工油などが焼けて臭いが出ることがあります。このような場合は、お部屋の窓を開けてください。数回使用していただくと臭いがなくなります。

■空気の取り入れ

- このストーブは、点火するときや燃焼のために空気を必要とします。
- 給気口が開閉式の場合は、ストーブ使用時に必ず給気口を開けてください。
- 給気口は常にほこりやゴミがなくきれいな状態にしてください。
- 部屋の空調に関わる家電機器（レンジフード、衣類乾燥機、機械換気設備など）がストーブと同じ部屋に設置されている場合は、バッグドラフト（煙の逆流）のおそれがあります。ストーブ使用時はこれらの機器の使用をお控えください。

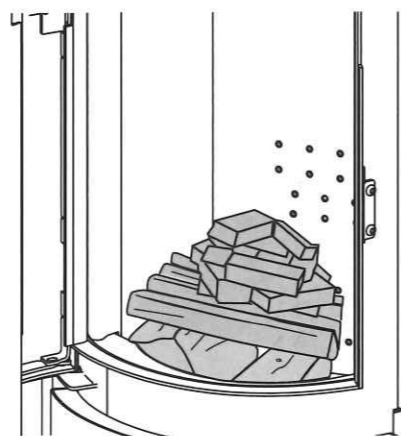
■薪ストーブ点火（焚き付け）

- ストーブの点火は薪を一気に勢いよく燃やすことで煙突内の空気を温めることでドラフト（上昇気流）を起こします。
- 炎の勢いが弱いと、ドラフトが弱く、室内に煙が出てくるおそれがあります。勢いよく燃やすために、太い薪だけでなく、焚き付け用の細い薪も用意してください。



■点火の際の薪の組み方

- トップダウン点火方式で薪を組むことを推奨します。トップダウン点火方式の薪の組みかたは、燃焼室の一番下に大きい薪を井の字型に敷いて、その上に細めの焚き付け用の薪を三角型になるように積み重ねてください。トップダウン式の着火は、上に積んだ細い薪から下の大きい薪に燃え移ります。上から火が着くので、煙突が温まるのが早く、ドラフトが発生して室内に煙が室内に漏れにくくなります。下にした薪の燃焼により発生したガスは、その上で燃えている炎の中を通り完全に燃やされて、一酸化炭素の発生が少なくなります。



※燃焼室底にある燃焼用空気導入口を塞がないようにして薪を組みます。

7 使いかた

点火のしかた



警告

★換気扇使用禁止

換気扇やレンジフードは使用しないでください。室内へ煙が漏れて、室内汚染のおそれがあります。

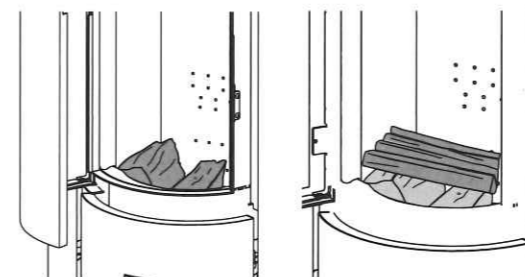


使用禁止

■薪を組む（トップダウン点火方式）

1 薪を燃焼室の底に敷く。

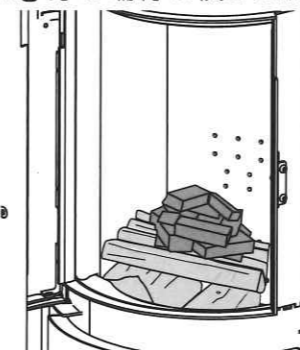
- 直径 10cm 以内の薪を燃焼室底に敷いてください。その上に、樹皮を取り除いた小型の薪を初めに敷いた薪に対して直角の向きに置いてください。



※燃焼用空気の通りが良くなるように適度に隙間をあけながら薪を組みます。

2 焚き付け用の端材を積み上げる。

- 約 1kg 分の端材を積み上げてください。



3 着火剤を置く。

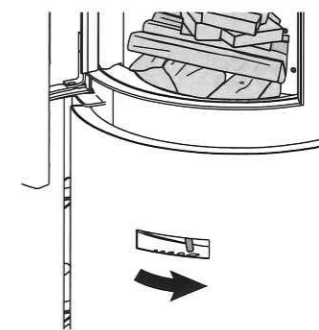
- 積み上げた端材の上に市販の着火剤を置いてください。



■点火する

1 空気量調節レバーを全開にする。

- 空気量調節レバーを右へ止まるまで動かしてください。

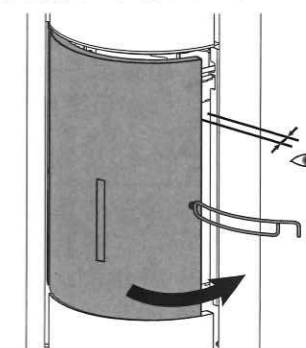


2 着火剤に点火する。

- マッチや市販の点火用ライターなどを使って点火してください。

3 燃焼室扉を完全に閉めず半開きにする。

- 燃焼室扉を完全に閉めずに 1cm ほどすき間を開けてください。



4 薪が勢いよく燃え始めたら、燃焼室扉を閉める。

- 数分経って、炎が勢いよくなったら、燃焼室扉を閉めてロックしてください。
- 点火してから 45～60 分後に、薪全体に炎が行き渡ります。薪全体に炎が行き渡ったら、炎の状態を見ながら、全開にした空気調節レバーを調節してください。

7 使いかた

火を維持する



警告

★高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、高温部(上面板、燃焼室扉、窓ガラス、側板、煙突)に手をふれないでください。やけどのおそれがあります。



接触禁止

- 火を維持するために薪を追加してください。
- 1時間あたりの薪の推奨使用量は0.8～2.5kgです。推奨使用量の範囲内で薪を足してください。

■薪の追加のタイミング

- 燃焼室内の炎が小さくなり、薪の下で炎がくすぶっているときに薪を追加するタイミングです。

■薪の追加の方法

1 燃焼室扉を1cmほど開けてから、扉を開ける。

- ストーブ内の煙を煙突の方へ逃がすため、燃焼室扉を1cmほど開けてから、燃焼室扉を完全に開けてください。

2 新しい薪を足して、扉を閉める。

- 薪を足した後は燃焼室扉を閉め、空気量調節レバーを全開にしてください。薪全体に炎が行き渡ってから、炎の状態を見ながら、全開にした空気量調節レバーを調節してください。
- 新しい薪に火が着かないときは、再度、点火作業をしてください。

お願い

- 焚きすぎを防ぐために、1時間当たりの最大使用量(2.5kg/h)を超える量の薪を入れしないでください。

暖炉モードでの使用について



注意

★暖炉モードでの使用時はストーブから離れない

●暖炉モードで使用するときはストーブから離れないでください。燃焼室からの飛び火などにより火災になるおそれがあります。



禁止

- 暖炉モードでは、燃焼室を開放した状態で薪を燃やします。
- 暖炉モードでの使用は、燃焼効率が下がります。
- 飛び火が出やすい、針葉樹、ハリエンジュ、アカシアの木は燃やさないでください。
- ドラフトを維持して室内への排気漏れを防ぐために、室内にある給気口を全開にするか、窓を開けてください。
- 扉の開口部より燃焼室へ多くの空気が流れ込むため、空気量調節レバーを全閉にして燃えすぎを防いでください。(空気量調節レバーのストッパーは取り外してください。)



全閉にする



暖炉モード

お願い

- 暖炉モードで使用する場合は、念のため近くに消火器を準備してください。

消火のしかた



注意

★水をかけない ※水をかけて消火しない

- 緊急時を除き、燃焼室内の薪に水をかけて消火しないでください。急激な温度変化でストーブが変形したり高温の水蒸気などでやけどするおそれがあります。
- ストーブに水をかけないでください。水分を付着したままにするとさびの原因になります。



使用禁止

★寝るとき消火 ※外出するとき消火 ※人のいないところでは使用しない

寝るときや外出するときは、必ず火が消えていることを確認してください。また、人目の届かないところでは、使用しないでください。火災など予想しない事故が発生するおそれがあります。

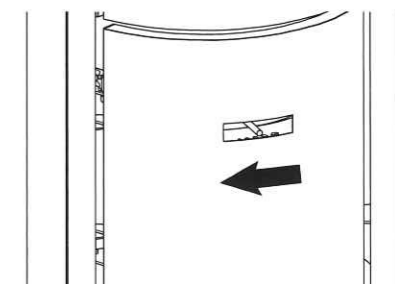


消火

- 空気量調節レバーを閉めてください。(レバーを左へ移動) 薪を追加するのをやめて薪が燃えつきるまで、待ってください。

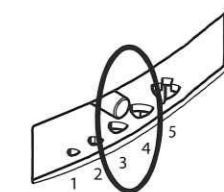
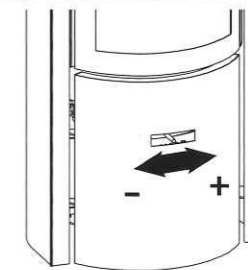
お願い

- レバーを閉めても燃焼用空気を完全に遮断できないため、即時消火はできません。薪が燃えつきるには時間がかかるため、消火時間を考慮して消火作業をおこなってください。



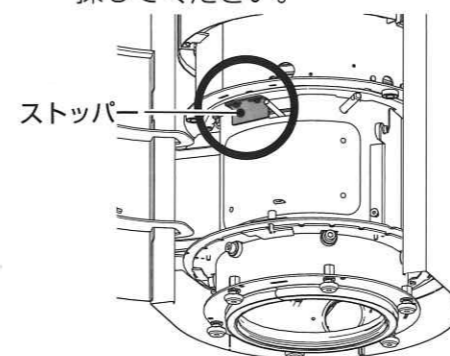
炎の調節

- 炎の調節はストーブ正面の空気量調節レバーを左右に動かすことで、空気量を増減させ、炎の強弱を調節します。ドラフトが弱いと燃焼状態が悪化し、ススが発生します。このときは空気量調節レバーを右に動かして空気量を増やして、排気温度を上げてください。
- 煙の排出を抑えるため、空気量調節レバーは3～5の間で使用されることをおすすめします。

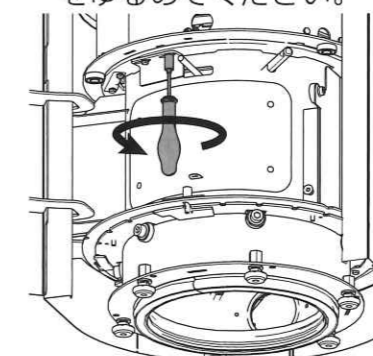


- 空気量調節レバーが3～5の間で調節ができるように、ストッパーの位置を調節してください。

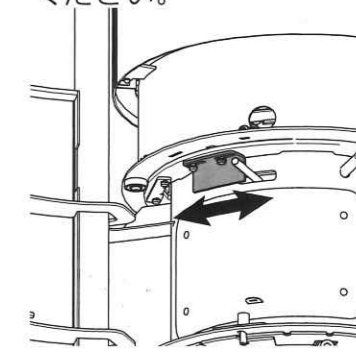
①アンダーパネルを開けて、左上にあるストッパーを探してください。



②8mmのボックスレンチまたはスパナでボルトをゆるめてください。



③ストッパーをずらして、正しい位置に固定してください。



※暖炉モードで使用する場合は空気量調節レバーのストッパーを取り外し、全閉位置で使用してください。

グリル（別売）の設置方法



注意

★別売グリルで調理中はストーブから離れない

調理をしたままストーブを離れないでください。
食材がこげたり、燃えたりして火災の原因になります。



禁止

このストーブは、別売のグリルを使用することで加熱調理することができます。薪の燃焼による熱により食材を加熱します。

- グリルの網は二枚構造になっており、食材を挟み込むように使用します。厚さ 2.5cm 以下の食材を用意してください。
- 燃焼室からの熱により調理ができます。食材に直接炎が当たらないようにしてください。
- 調理した食材が非常に熱くなることがあります。やけどに注意してください。
- グリル取付金具はストーブが冷めた状態で取り付けをおこなってください。
- グリルの設置は手袋をはめておこなってください。

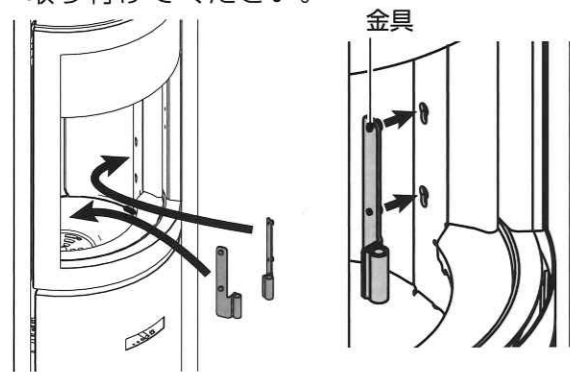


■グリルの設置方法

1 燃焼室扉を暖炉モードにする。

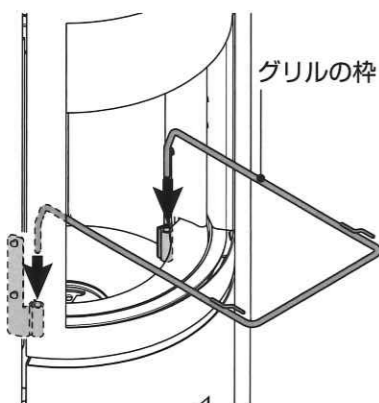
2 グリル取付金具を取り付ける。

- グリル取付金具を燃焼室の穴に差し込み、取り付けてください。



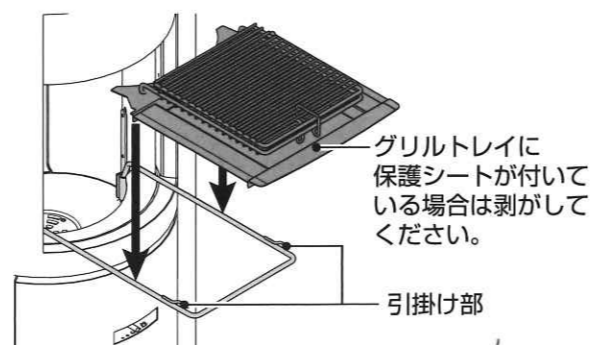
3 グリルの枠を取り付ける。

- グリルの枠を取り付け金具にある穴に差し込んでください。

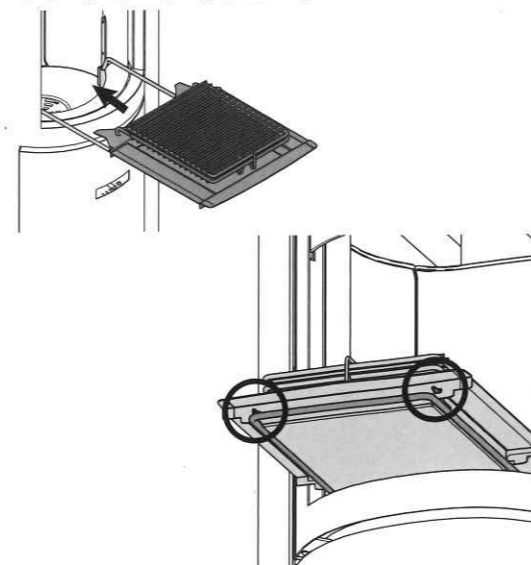


4 グリルをセットする。

- ① 枠にある引掛け部の奥に、グリルトレイの後ろ側から載せてください。



- ② グリルを奥へ押し、引掛け部を穴へ入れてください。

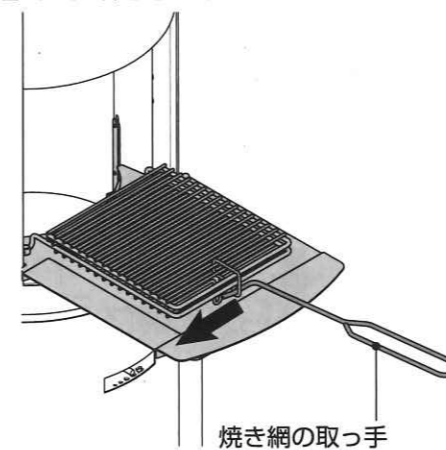


グリル（別売）の設置方法(つづき)

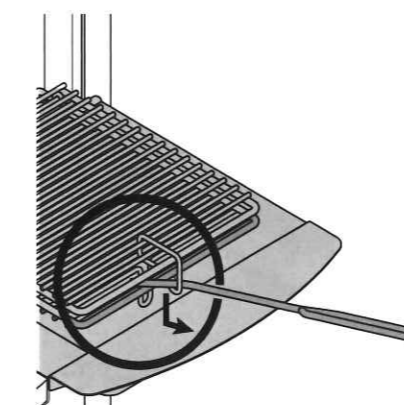
■グリルの使い方

1 焼き網を開く。

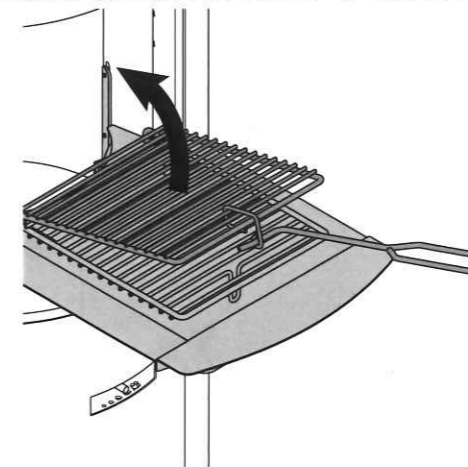
- ① 焼き網の取っ手をフックの穴に差し込んでください。



- ② フックを押し下げてから、手前に引いてください。
(下側の焼き網からフックが外れます。)

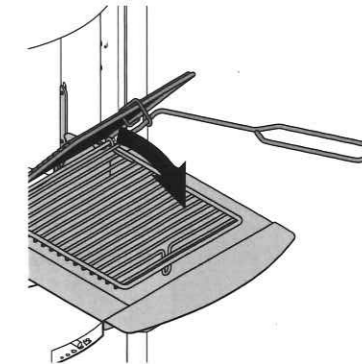


- ③ 上側の焼き網を持ち上げてください。

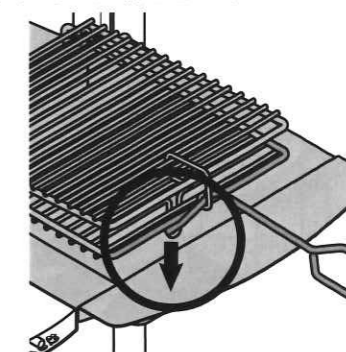


2 食材をセットし、焼き網を閉じる。

- ① 食材をセットして上側の焼き網を閉じてください。



- ② フックを下側の焼き網に引っかけてロックしてください。



3 グリルを火に近づけて、調理する。

- 燃焼中の薪を燃焼室の奥の方へ移動してから、グリルを燃焼室の前にセットしてください。
※炎が直接食材に当たらないように調理してください。



グリルが止まるまで、持ち上げてください。

お願い

燃焼中や燃焼停止直後はグリルが高温になるため、グリルや枠を直接手で触らないでください。

7 使いかた

排気の調節機能

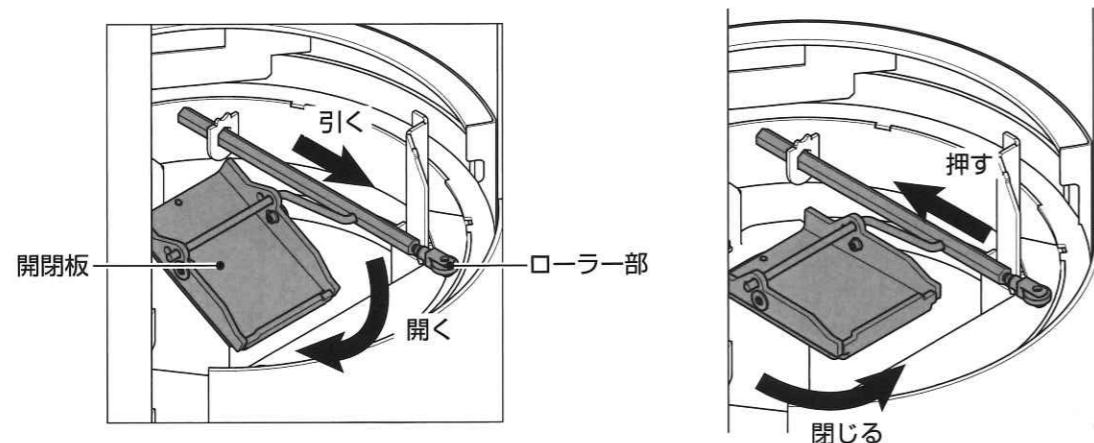
- 本機には扉が閉まっているモードと扉を開放しているモードとで、開き具合が変わる排気偏向器がついています。
排気偏向器の開き具合が、扉が閉まっているモードは少なくなるように、扉が開放しているモードは多くなるように設定されています。

■排気偏向器の効果

	扉が閉まっているモード (ガラス扉モード、鉄扉モード)	扉が開放しているモード (暖炉モード)
排気偏向器の開き具合	少ない	多い
効果	煙突への熱放出が少なくなり、 燃焼室の温度が高くなります。 ↓ 燃焼効率が良くなります。	煙突への排気量が多くなります。 ↓ 開放された扉から煙が漏れるのを防ぎます。

■排気偏向器のしくみ

- 排気偏向器の開閉板は、レバーを引くと開き、押し込むと閉じます。



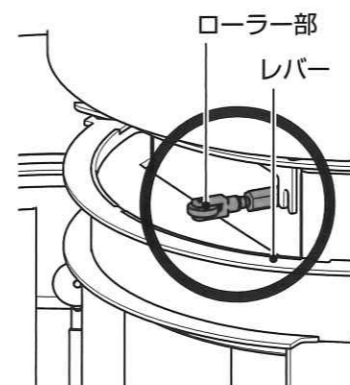
ローラー部が扉の内側に押されて、排気偏向器の開き具合が扉のモードによって少なくなったり多くなったりします。

■バックドラフト(排気の逆流)が発生する場合は、排気偏向器の押し込み量を調節する

- 排気偏向器レバーの長さを調節することで、押し込み量を変えることができます。
煙突への排気を多くすることで、バックドラフト(排気の逆流)を改善します。
押し込み量は次のとおりに調節してください。

1 燃焼室扉を開く。

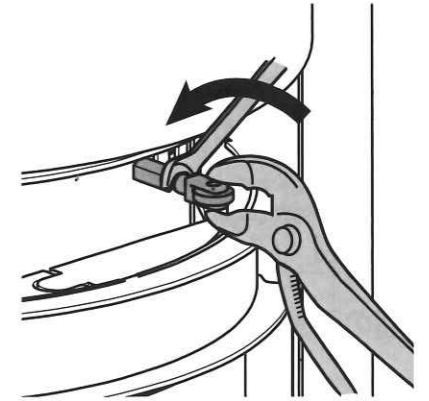
- 燃焼室扉を開くと右上に排気偏向器レバーとローラー部が見えます。



排気の調節機能 (つづき)

2 ローラー部を固定して、ナットをゆるめる。

- プライヤー等でローラー部を固定して、10mmスパナでナットをゆるめてください。



3 ローラー部をまわして、押し込み量を調節する。

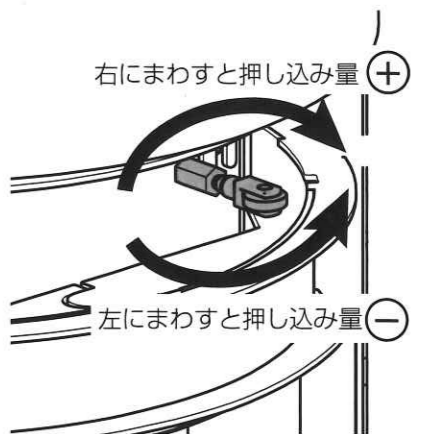
- 右へまわすとレバー長さが短くなり、押し込み量が少なくなります。
左へまわすとレバー長さが長くなり、押し込み量が多くなります。

■煙突への排気を多くするとき(バックドラフトの改善)

ローラー部を右へまわしてください。
(レバー押し込み量が少なくなり、排気偏向器の開きが多くなります。)

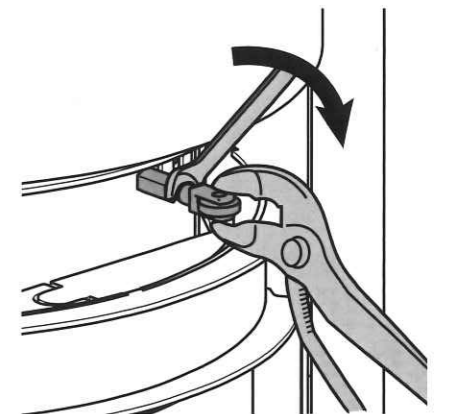
■煙突への排気を少なくするとき

ローラー部を左へまわしてください。
(レバー押し込み量が多くなり、排気偏向器の開きが少なくなります。)



4 ローラー部を固定する。

- ローラー部の位置が決まったら、ローラー部を固定した状態で、ナットを締めて固定してください。



お願い

排気偏向器を調節しても、バックドラフト(排気の逆流)が改善されない場合は、排気偏向器を取り外してください。
取り外し方は、煙突の掃除(24ページ)を参照してください。
取り外しても改善されない場合は、販売店へ相談してください。

8 点検・手入れ

点検・手入れをするときは

- 点検・手入れをするときは、必ずストーブを消火して、冷えてからおこなってください。
- 部品に触るときや、内部を掃除するときは、手をけがしないように、手袋をはめておこなってください。
- ストーブをベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色します。

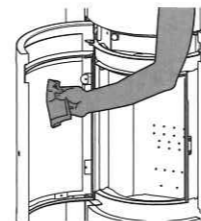
点検・手入れをする時期・項目・方法

■使用のたびに

項目	方法
周囲の可燃物	●ストーブ・煙突の周囲は、常に整理、清掃し、燃えやすいものを置かないようにしてください。
汚れ・ほこり	●ストーブはいつも清潔に掃除してください。汚れたままのご使用は危険のもとですし、ストーブのいたみを早めます。 ●ストーブに付いた汚れやほこりは、乾いたやわらかい布などでふき取ってください。
臭気・煙漏れ	●燃焼中に臭いが出たり、煙突の接続部から煙が漏れていないか確認してください。 異常があれば販売店に連絡してください。 ●ストーブ本体から煙が漏れていないか確認してください。 ストーブ本体から煙が漏れている場合は、バックドラフト（排気の逆流）が発生している可能性があります。 28 ページを参照して処置してください。
灰の除去	●燃焼室内や灰受け皿に灰がたまっていないか確認してください。 灰がたまっている場合は、除去してください。 ①燃焼室扉を開き、燃焼室内にたまった灰をスコップなどで取り除いてください。 ②スコップなどで取り除けなかった灰を掃除用ホウキや掃除機できれいに取り除いてください。 ③アンダーパネルを開き、シェーカーレバーを前後に動かし灰受け皿へ灰を落としてください。 ④灰受け皿を引き出し、皿の中にある灰を除去してください。 灰を除去することで、燃焼効率の向上につながります。 灰がたまると、燃焼に必要な空気を取り入れることができなくなり、不完全な燃焼を引き起こし、多くのススが発生する原因となります。 お願い 紙パック式の掃除機や家庭用掃除機はご使用をお控えください。 フィルターが目詰まりしやすく、数回のご使用で掃除機が故障するおそれがあります。

■気になったときに

項目	方法
ガラス窓のクリーニング	●ガラス窓はススや灰などが付着して汚れてきます。 固めにしぼったぬれ雑巾などで拭き取って、自然に乾かしてください。 お願い 研磨剤の入ったクレンザーなどは使用しないでください。

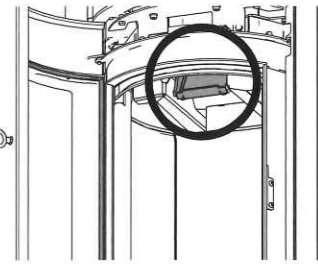
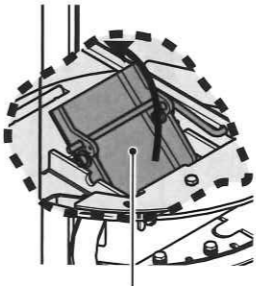

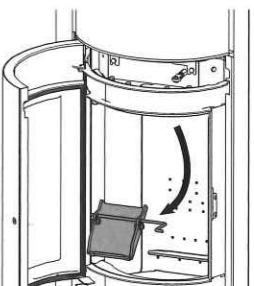


点検・手入れをする時期・項目・方法 (つづき)

■1シーズンに1~2回以上

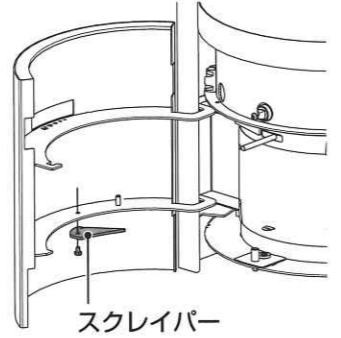
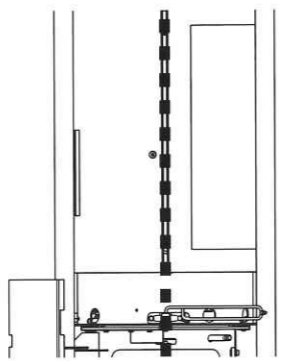
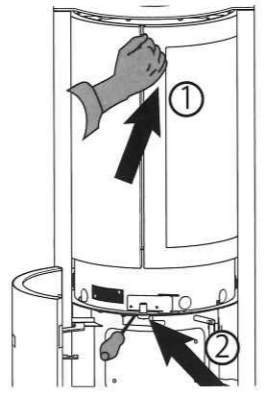
項目	方法
排気経路の点検・掃除	●排気経路にほこりやススなどが蓄積すると、燃焼に悪影響を及ぼす場合があります。販売店にご依頼して、点検・清掃をしてください。
給気経路の点検・掃除	●給気経路がほこりなどで閉塞されると、燃焼に悪影響を及ぼす場合があります。販売店にご依頼して点検・掃除をしてください。

■シーズン終了後

項目	方法
ストーブの破損	●ストーブに変形や傷んでいる箇所がありましたら、お買い求めの販売店へ連絡してください。
煙突の掃除	●1シーズン、ストーブを燃焼すると煙突内にススやタール（クレオソート）が付着します。 この状態を放置すると煙突内のドラフト（上昇気流）が弱まり、燃えにくくなります。 また、タール（クレオソート）に引火して「煙道火災」を引き起こすおそれがあります。煙突の掃除は、販売店へ依頼してください。 ●煙突を掃除する際は、ススがたまるのを防ぐため、あらかじめ排気偏向器を取り外してください。 また、ススが室内へ漏れないようにするため、燃焼室扉を閉じ、空気量調節レバーを閉じてください。 (空気量調節レバーのストッパーは取り外してください。18 ページ参照) 〔排気偏向器の取り外しかた〕 1 燃焼室扉を開く。 2 排気偏向器の位置を確認する。  3 排気偏向器を取り外す。 ①排気偏向器を後ろ側へ傾けてください。 ②排気偏向器を右へまわしてください。 ③排気偏向器を下へ取り外してください。    排気偏向器 連結棒 排気偏向器レバー ※連結棒が排気偏向器レバーから外れます。

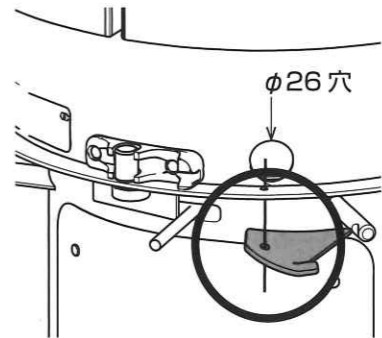
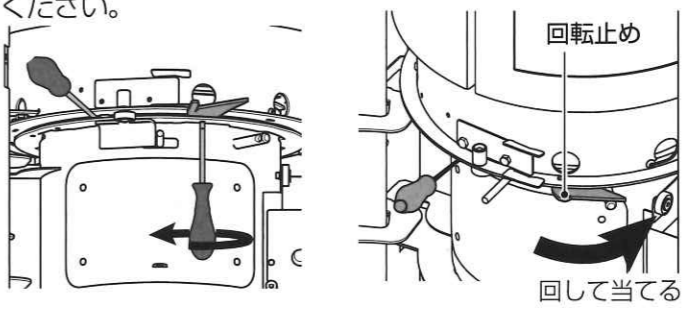
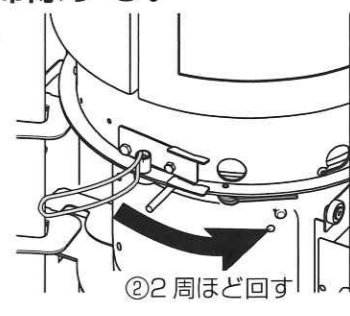
点検・手入れをする時期・項目・方法 (つづき)

■シーズン終了後

項目	方法
扉ドラムと下台の すき間の掃除	<p>● 燃焼すると、扉ドラムと下台のすき間に灰などが蓄積します。灰の蓄積により扉ドラムの回転に支障をきたしたり、回転時の音の発生原因になります。下記の手順で掃除をしてください。</p>
	<p>1 アンダーパネルを開けてスクレイパーを取り外す。</p> <p>● アンダーパネルを開き、10mm スパナでボルトを外してください。</p> 
	<p>2 扉ドラムを回転して、扉が半分見えるようにする。</p> <p>● 扉ドラムのロックを外して、回転して扉が半分見える位置にしてください。</p> 
	<p>3 扉ドラムを傾けて、マイナスドライバーを差し込む。</p> <p>① 扉ドラムを後方へ傾けてください。 ② 扉ドラムの下にマイナスドライバーを差し込んでください。</p> 


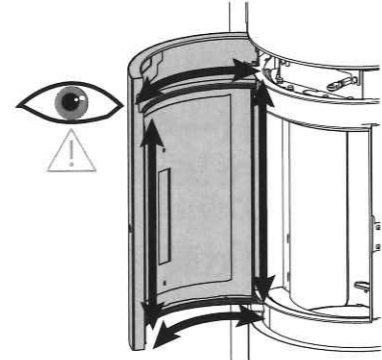
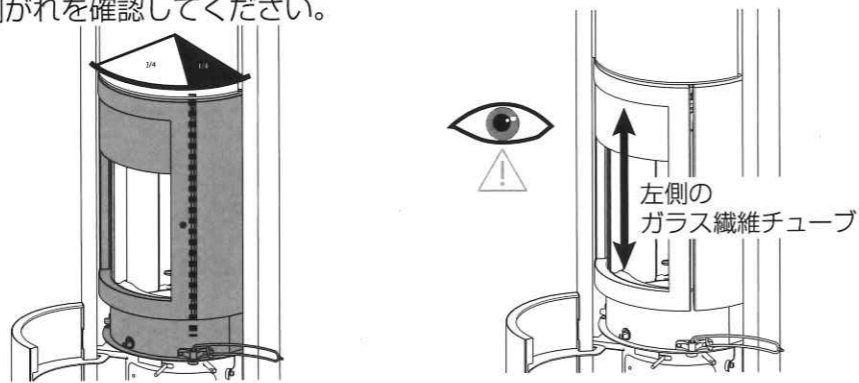
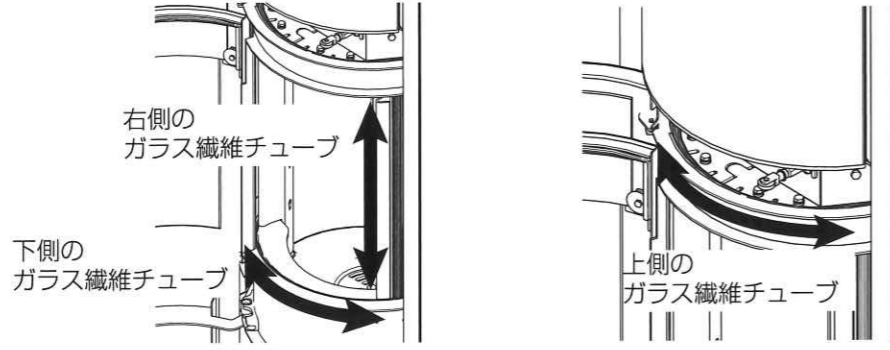
点検・手入れをする時期・項目・方法 (つづき)

■シーズン終了後

項目	方法
扉ドラムと下台の すき間の掃除 (つづき)	<p>4 スクレイパーを扉ドラムと下台のすき間に差し込む。</p> <p>① $\phi 26$ 穴を目印にしてスクレイパーを差し込んでください。 ② スクレイパーと扉ドラムのボルト穴を合わせてください。</p> 
	<p>5 スクレイパーを固定する。</p> <p>① スクレイパーを M5 ボルトで扉ドラムに仮止めしてください。 ② スクレイパーの回転止めを扉ドラムに当ててください。 ③ ボルトを本締めしてください。</p> 
	<p>6 扉ドラムを回して、すき間の灰を掃除する。</p> <p>① 扉ドラムを後方へ傾けマイナスドライバーを取り外してください。 ② 扉ドラムを2周ほど回してすき間の灰を出してください。 ③ すき間から出た灰はブラシや掃除機で取り除いてください。</p> 
	<p>7 スクレイパーを元に戻す。</p> <p>① 扉ドラムを回して、スクレイパーのある所の扉が半分見える位置に止めてください。 ② 扉ドラムを後方へ傾け扉ドラムの下にマイナスドライバーを差し込んでください。 ③ スクレイパーを固定しているボルトを取り外してください。 ④ スクレイパーを取り外してください。 ⑤ スクレイパーをアンダーパネルの裏側に M5 ボルトで固定してください。 ⑥ 扉ドラムを後方へ傾け、マイナスドライバーを取り外してください。</p>

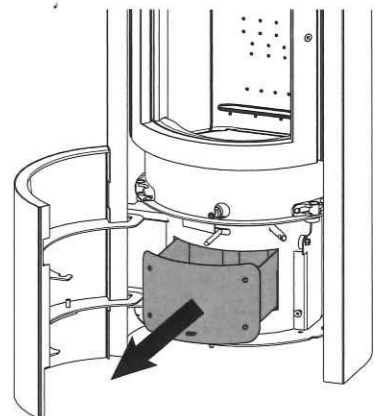
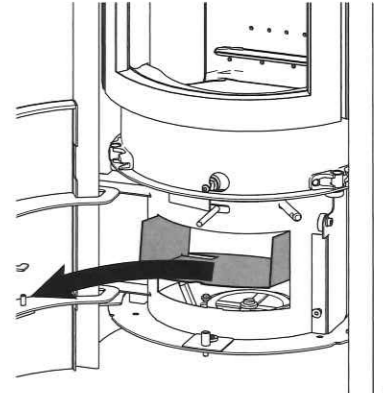
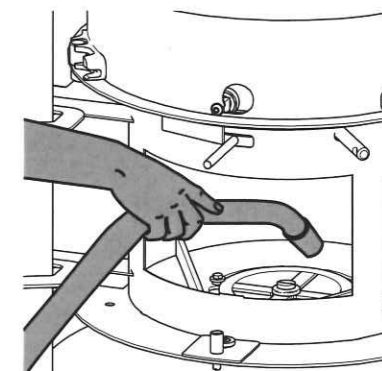
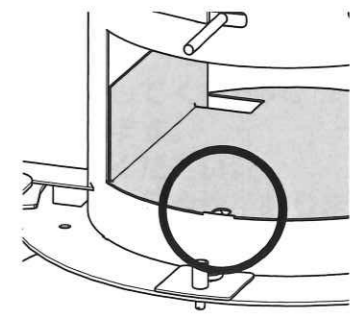
点検・手入れをする時期・項目・方法 (つづき)

■シーズン終了後

項目	方法
<p>ガラス繊維チューブの確認</p>	<p>● 燃焼室の気密性を保つために、燃焼室扉と扉ドラムの間、扉ドラムと燃焼室の間にガラス繊維チューブが使われています。次の手順でガラス繊維チューブの破損や剥がれがないか確認してください。破損や剥がれがある場合は、販売店に相談して交換してください。</p>  <p>ガラス繊維チューブの破損</p> <p>〔燃焼室扉に付いているガラス繊維チューブの確認〕</p> <p>● 3つのモードの扉をそれぞれ開けて、燃焼室扉の内側にあるガラス繊維チューブの破損や剥がれを確認してください。</p> 
	<p>〔燃焼室に付いているガラス繊維チューブの確認〕</p> <p>● 暖炉モードの扉が3/4見える状態にして、左側のガラス繊維チューブの破損や剥がれを確認してください。</p>  <p>左側のガラス繊維チューブ</p> <p>● 暖炉モードの扉を開き、扉ドラムを右へ回し、ガラス繊維チューブが見えるまで回してください。右側・下側・上側のガラス繊維チューブの破損や剥がれを確認してください。</p>  <p>右側のガラス繊維チューブ</p> <p>下側のガラス繊維チューブ</p> <p>上側のガラス繊維チューブ</p>

点検・手入れをする時期・項目・方法 (つづき)

■シーズン終了後

項目	方法
<p>灰トレイの下の掃除</p>	<p>● 燃焼すると、灰受け皿の下に灰やほこりが蓄積します。下記の手順で掃除をしてください。</p> <p>1 アンダーパネルを開き、灰受け皿を引き出す。</p>  <p>2 灰受け皿の支えを取り出す。</p> <p>● 灰受け皿の支えを持ち上げてから手前に引き出してください。</p>  <p>3 灰やほこりを除去する。</p> <p>● 掃除機を使い、ストーブの底にたまった灰やほこりを除去してください。</p>  <p>4 灰受け皿の支えと灰受け皿を元に戻す。</p> <p>● 灰受け皿の支えは本体のふちに合わせてください。</p> 

9 故障・異常の見分けかたと処置のしかた

修理を依頼される前に調べていただきたいこと

●次のことを調べても直らないときは、販売店へ修理をご依頼ください。

状態	説明
①ストーブ本体から煙が漏れる。 (煙が逆流して部屋に戻ってくる。)	<ul style="list-style-type: none"> ●換気扇などの換気システムが働いていると、室内が負圧になり煙が逆流して室内へ漏れることがあります。特に点火時は煙突のドラフト(上昇気流)が弱いと、煙が室内に漏れやすくなります。 →換気扇などの換気システムを停止してください。停止できない場合は、お部屋の窓を少しあけてください。(外気を導入すると改善されます) ●空気量調節レバーが閉まっていると、煙が室内に漏れやすくなります。 →空気量調節レバーを全開にしてください。 ●煙突がつまっている可能性があります。 →販売店に相談して煙突掃除をおこなってください。 ●煙突の高さが低い、横引きが長い可能性があります。煙突が低いおよび横引きが長いとドラフト(上昇気流)が弱くなり、煙の逆流の原因となります。 →販売店にご相談ください。 ●排気偏向器の開き具合が少ないため、煙突への排気が少なくなり、煙が室内へ漏れやすくなります。 →排気偏向器を調整して、開き具合を多くしてください。(21・22ページ) ●湿った薪を燃やし、煙の量が多くなっています。 →十分に乾燥した薪を使用してください。
②購入後初めて使用するときにおいが出る。	<ul style="list-style-type: none"> ●購入後初めて使用するとき、製品の塗料が焼けてにおいが出ます。 →このような場合は、お部屋の窓を開けて運転してください。(数回使用していただくとおいは出なくなります。)
③ガラス窓が曇る。	<ul style="list-style-type: none"> ●薪が湿っていませんか。 →十分に乾燥した薪をご使用ください。2年以上乾燥した含水率20%以下の薪をご使用ください。 ●空気量調節レバーが全閉になっていませんか。 →レバーを開けて空気量を増やしてください。 ●ガラス繊維チューブが消耗していませんか。 →消耗して破損などしている場合は販売店に相談して交換してください。 ●灰がたまりすぎていませんか。灰がたまりすぎて燃焼室へ空気を供給する穴がふさがれている場合があります。 →灰の掃除をしてください。(23ページ) ●煙突がつまっている可能性があります。 →販売店に相談して煙突掃除をおこなってください。

修理を依頼される前に調べていただきたいこと(つづき)

状態	説明
④火がつきにくい	<ul style="list-style-type: none"> ●薪が湿っていませんか。 →十分に乾燥した薪をご使用ください。2年以上乾燥した含水率20%以下の薪をご使用ください。 ●炊きつけ材が少ない可能性があります。 →太い薪に火が移るために必要となる充分な量の炊きつけ材を使用してください。 ●煙突のドラフト(上昇気流)が弱い可能性があります。 →販売店にご相談ください。
⑤燃えすぎる (温度が上がりすぎる)	<ul style="list-style-type: none"> ●薪を入れすぎていませんか。 →薪を一度に多く入れすぎると温度が上がりますので、注意してください。 ●空気量調節レバーが全開になっていませんか。 →レバーを調節してください。 ●針葉樹(カラマツ、アカマツ、スギ、ヒノキなど)は、広葉樹と比べて燃えやすく、急激に温度が上がることがあります。 →なるべく太い薪を使用してください。
⑥燃えない (温度が上がらない)	<ul style="list-style-type: none"> ●薪が湿っていませんか。 →十分に乾燥した薪をご使用ください。2年以上乾燥した含水率20%以下の薪をご使用ください。 ●空気量調節レバーが全閉になっていませんか。 →空気量調節レバーを全開にしてください。 ●灰をためすぎていませんか。灰がたまりすぎて燃焼室へ空気を供給する穴がふさがれている場合があります。 →灰の掃除をしてください。(23ページ) ●煙突がつまっている可能性があります。 →販売店に煙突の掃除を依頼してください。
⑦タール(クレオソート)が発生する。	<ul style="list-style-type: none"> ●薪が湿っていませんか。 →十分に乾燥した薪をご使用ください。2年以上乾燥した含水率20%以下の薪をご使用ください。 ●針葉樹(カラマツ、アカマツ、スギ、ヒノキなど)は、ヤニ成分を含んでいるものが多く、ヤニがタールやクレオソートの発生原因となります。 ●空気量調節レバーを閉めすぎていませんか。 →空気量調節レバーを調節してください。 ●給気経路がつまっていませんか。 →販売店に給気経路の掃除を依頼してください。 ●煙突がつまっている可能性があります。 →販売店に煙突の掃除を依頼してください。 ●煙突のドラフト(上昇気流)が弱い可能性があります。 →販売店へ相談してください。

9 故障・異常の見分けかたと処置のしかた

煙道火災が発生した場合

- 煙道火災とは、薪ストーブの煙突内部に蓄積したタールに引火し、煙突内部で燃える現象です。
 - 煙道火災が起きると、以下のような症状が発生します。
 - ・煙突表面が赤くなる。
 - ・煙突から大きな音がる。
 - ・煙突トップから炎が出る。
 - このような症状が発生した場合は、
 - ・燃焼室扉を確実に閉めてください。
 - ・暖炉モードになっている場合は、ガラス扉モードもしくは鉄扉モードに切り替えてください。
 - ・ストーブの空気量調節レバーを全閉にする。
 - ・延焼に備えて消火器の準備をしてください。
- 上記の処置をおこなった上で、火がおさまるまで屋外へ避難し、消防署へ連絡してください。
- 煙道火災が起きた後は、必ず専門業者に点検を依頼してください。
 - 煙道火災を防ぐには、取扱説明書に従い正しくご使用していただくとともに、煙突掃除などのメンテナンスを怠らないようにしてください。

10 部品交換のしかた

部品交換のときの注意

- 部品交換や修理をお受けになる場合は、販売店もしくは弊社で修理されることを推奨します。
- 不完全な修理は危険です。
- 故障したものは使わないでください。
- 短時間に消耗する部品は特にありませんが、交換部品が必要な場合は、お買い求めになった販売店にご相談ください。
- 部品は必ず純正部品をご使用ください。
- 部品を交換するときは、ストーブを消火し、ストーブが充分冷えてからおこなってください。

11 アフターサービス

保証について

保証期間はご購入より1年間です。

■修理を依頼するとき

「故障・異常の見分けかたと処置のしかた」(29・30ページ)に従って、お調べください。直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店、もしくは弊社にご連絡ください。

●ご連絡いただきたい内容は次の通りです。

- ① 品名…薪ストーブ
- ② 名称… Stûv 30-Compact
- ③ 製造番号… 6桁数字(アンダーパネルに記載)
- ④ お買い求め年月日
- ⑤ 故障の状況(できるだけ具体的に)
- ⑥ おなまえ・おところ・電話番号

●裏表紙の保証書の規定にしたがって、販売店、または弊社が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。

この取扱説明書に記載されている禁止事項・注意事項および通常使用に反して使用された場合の故障、事故につきましては、保証いたしません。

補修用性能部品について

- ストーブの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後7年です。
- 補修用性能部品とは、ストーブの機能を維持するために必要な部品です。

故障・修理の際の連絡先

株式会社 トヨトミ お客様相談窓口

 0120-938-178 FAX 052-857-1220

受付時間 平日(月曜～金曜)午前9時～午後5時 ※土・日・祝日は除く

据付け・移設について

- ストーブを設置する場所には、建築基準法や消防法に基づく火災予防条例に定められた設置をする必要があります。
- 施工上の責任は当社では負いかねます。

据付け・移設工事は必ずお買い求め販売店または専門業者に依頼してください。お客様ご自身ではおこなわないでください。

株式会社 トヨタ

薪ストーブ保証書

型式 Stuv 30-Compact 保証期間 本体1年間

※お買い求め日 年 月 日

※お客様 様

ご芳名

〒□□□-□□□□

ご住所

[電話 ()]

本保証書は、本書記載内容により無料修理をおこなうことをお約束するものです。
お買い求めの日から左記期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

※販売店名・住所・電話番号

※印欄に記入がない、あるいは購入・支払いを証明するものがない場合は有料修理となりますから必ず確認して、購入証明書(領収書)を保管してください。

【 無 料 修 理 規 定 】

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、お買求めの販売店または弊社が無料修理致します。
2. 取扱説明書に記入してある販売店に修理を依頼できない場合は、弊社までお問い合わせください。
3. 保証期間内でも、次の場合は有料になります。
(イ)取扱説明書等の注意事項に従わない誤った使用、及び不当な修理や改造による故障や損傷。
(ロ)お買い求め後の、器具の転倒、落下、衝撃・輸送等による故障や損傷。
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害その他環境要因による故障や損傷。
(ニ)自然薪以外の燃料の使用による故障や損傷。
(ホ)部品の消耗による故障や損傷、部品交換及びメンテナンスの費用。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い求めの販売店または、弊社までお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書の「アフターサービス」の項をご覧ください。
- お客様の個人情報は、当社規定により、厳格に管理します。保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

修理メモ

販売元

豊臣工業株式会社

輸入元

株式会社 トヨタ

〒467-0855 名古屋市瑞穂区桃園町5番17号

お客様相談窓口



0120-938-178

受付時間 平日(月曜～金曜)午前9時～午後5時

※土・日・祝日は除く

FAX 052-857-1220